

報告
緑・食部会

食の安心・安全はどこに…

11月27日(木) JAビル宮城11F大会議室にて、第8回 MELON 環境市民講座「食の安全を問う」シンポジウムを開催し、100人余りの方の参加をいただきました。そのレポートを緑・食部会の庄子さんに書いていただきました。



まず緑・食部会の河相部会長から「食の安全という、すぐ地産地消、産直に結びつけるのは片手落ちで消費の4割を占める食品加工企業を抜きにして安心、安全は語れない」と挨拶がありました。

講師の八田氏が所属する農民連食品分析センターは、中国産冷凍ホウレンソウの残留農薬を検出して世論に訴え、違反が相次ぐ食品の輸入禁止措置を盛り込んだ改正食品衛生法の成立に結び付けました。

日本は、世界最大級の食糧輸入国で、特に冷凍食品は9割が輸入品で占められています。見栄えの良い野菜を出荷したい中国の農家は、収穫直前に農薬を散布するそうです。ブランピング(ゆでる)後は野菜扱いにならず、無検査で輸入されるため冷凍野菜から残留農薬が検出されにくかったのでしょうか。



輸入野菜は加工すると原産地の表示義務がなくなるため、産地がわからないまま外食産業や学校給食に流れています。消費者が輸入食品の実態をよく認識すると共に、輸入食品や国内農薬の検査をより厳しくする制度の強化が必要と思われます。国内農業と食の現場の距離が離れないよう、情報の共有化が求められますが、何より食生活の見直しが第一だと思います。(緑・食部会 庄子都)



ホームページにはレポートと参加者の感想などを詳しく掲載しています。

報告
環境家計簿モニター事業

エコライフ

今できることから



2002年の最後にお贈りした★クリスマス企画★MELON present's Christmas special Talk LIVE。「MELONから多くの方にMELONらしい形で心に残るクリスマスプレゼントができた」という思いを込めて、12月23日(月)にメディアテークで開催しました。当日は約120名という大勢の方々にご来場をいただきました。

ステージ上には小さなツリーを飾り、鈴木事務局員によるキーボードの生演奏を行い、手作りの温かみのある雰囲気の中でライブは始まりました。

第1部はフリーアナウンサーの渡辺祥子さんが「度十公園林」、「星の王子さま」(一部)、「世界一すてきなおくりもの」を朗読。物語を通して渡辺さんご自身が感じたこと、思いを行動に移していくことの大切さや難しさ、勇気をもつことの素晴らしさなどを、体験談を交えてお話いただきました。朗読が終わるたびに、会場からは暖かい拍手が沸き起こりました。

第2部は門田陽子理事、小林事務局員による「MELONと環境家計簿」の紹介。MELONができたいきさつや現在行っている様々な活動を、MELON

のホームページや環境家計簿 CD-ROM をスクリーンに映写しながら紹介しました。ご来場の方にはエコバックとみやぎエコライフカレンダーを配布しました。ビニール袋1枚=石油大さじ1杯であることを紹介し、お買い物の際にはエコバックを持参するように呼びかけました。

第3部では渡辺さんと門田理事による TALK&TALK「ちょっとすてきなエコライフ」が行われました。以前からお知り合いだったということもあって、お二人のトークの息はバッチリ。瞬く間に時が過ぎて行きました。待機電力をカットするためにコンセントを抜くことなど、家庭で今すぐ始められる省エネや楽しく続けるコツなどが話されました。

アンケートによると「出席したことによってエコライフに興味を持った」という感想を多数お寄せいただきました。このイベントをきっかけに今できること・始められることは何か?を考えて、私たちと一緒にエコライフをすすめていただけたらうれしいです。

